

事務事業評価表(既存事業)

コード 13-2-8	事務事業名 (仮称)西東京市体育館の建替	所管部課 生涯学習部スポーツ振興課
---------------	-------------------------	----------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 スポーツ・レクリエーション活動を通じて、より豊かで充実した社会生活を確保する。そのため、老朽化した体育館を解体し、新たに体育館を建設する。	総合計画上の位置づけ (政策)創造性の育つまちづくり (施策)スポーツ・レクリエーション活動の振興(創3-3) (主要施策)スポーツ施設の整備
	実施内容、実施方法 スポーツ及び文化施設を併設し環境対策を考慮し屋上緑化や雨水利用の設備を備えた南町地域の生涯スポーツ振興の拠点として建設する。	根拠法令等
	事業開始時期 平成 14 年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()

評価指標の設定	活動指標名 工事打合せ回数	活動指標の考え方(定義) スポーツ施設の工事施工に関する具体的打合せ回数
	成果指標名 工事進捗率	成果指標の考え方(定義) 建物完成に対する出来高の割合

		単位	14年度	15年度	16年度	17年度
事務事業データ	事業費(A)		2,258	17,299	448,000	719,342
	国庫支出金	千円			257,000	156,600
	都支出金					
	地方債				190,400	
	その他					
	一般財源		2,258	17,299	600	562,742
	所要人員(B)	人	0.05	0.10	0.40	0.60
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	412	827	3,331	4,997
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	2,670	18,126	451,331	724,339
	単位当たりコスト (E)=(D)/ ()	千円				
歳入	千円					
活動指標	目標値	回			1	43
	実績値	回	0	0	24	
活動指標	目標値					
	実績値					
成果指標	目標値	%			35	65
	実績値	%	0	0	35	
成果指標	目標値					
	実績値					

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	社交・競技ダンスが出来る場所が欲しい。
	国・都・他市・民間等 における類似事業	
	運営上の制約条件・ 外部要因等	文化活動団体の活動も可能な施設にする。

コード 13-2-8	事務事業名 (仮称)西東京市体育館の建替	所管部課 生涯学習部スポーツ振興課
---------------	-------------------------	----------------------

項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績 <input type="checkbox"/> 極めて良好 <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	建設工事が計画通り進んでいる。
	必要性 <input type="checkbox"/> 増大 <input checked="" type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	建替え前の市体育館は使用頻度が高かったことから、建替え後は施設数が増えるため使用率が期待されるものである。
	効率性 <input type="checkbox"/> 大きく改善 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	スポーツと文化の複合施設として補助事業の対象となるため有効である。
	公平性 <input type="checkbox"/> より充実 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	建替え前から使用団体が多く、多目的な利用が考えられるため、ニーズに対応した施設を備えるため、多くの市民が対象となるため公平性は高いと考えられる。
	総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止	平成18年度に完成を予定しているが、利便性等から考えて多くの市民が利用できる施設として総合的に高い必要性があると考えられる。

17年度における改善点	西側住民等に対する工事の騒音・振動等の及ぼす影響と苦情の対策
-------------	--------------------------------

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
--------	--

評価の視点

- 実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など
- 必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など
- 効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など
- 公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など
- 総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。
 - 拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。
 - 継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。
 - 改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。
 - 抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。
 - 廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。